

○実施学科

看護第1学科

歯科衛生科

○実施時期

自己点検自己評価：2022年4月～5月

学校関係者評価：2022年5月～6月

○学校評価の方針

自己評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>各学科「学校法人行岡保健衛生学園自己評価表」に基づいて、自己評価を実施している。評価項目については、「専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省生涯学習政策局：平成25年3月）を参照して定めている。</p> <p>なお、自己評価表については、学校法人行岡保健衛生学園「情報公開」で公表している。</p>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>各学科、「学校法人行岡保健衛生学園自己評価表」に基づいて、自己点検自己評価を実施している。評価項目については、「教育理念・目標」、「学校運営」、「教育活動」、「学習成果」、「学生支援」、「教育環境」、「学生の受け入れ状況」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」、「法人運営・財務」の10項目である。</p> <p>また、評価委員会については、各学科の専門分野における業界関係者（就職先・実習先施設、業界団体、職能団体職員）、学校運営に関する専門家（学校マネジメント）、卒業生より人選している。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
看護専門学校教学部長	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	学校運営に関する専門家 (マネジメント)
短期大学教授	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	教育関連

歯科医院	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
歯科医院	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
医療機関	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、就職先、実習先)
医療機関	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
医療機関	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、就職先)
整骨院院長、同窓会役員	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
整骨院院長、職能団体役員	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、職能団体)
会社役員、同窓会役員	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
整骨院代表、同窓会役員	令和1年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校法人行岡保健衛生学園「情報公開」で公表している。 行岡医学技術専門学校ホームページ「情報公開」 <a href="http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/">http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/</a>		

行岡保健衛生学園 自己評価表(2021年度)

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第1学科

記入者：吉田 菊江

1. 学校の教育目標

学則・授業計画 P2 参照

1. 人間を成長発達変化している身体的・精神的・社会的霊的(スピリチュアル)に統合された存在として捉え、幅広く理解する能力を養う。
2. 人間の健康と生活を物理的・生物的・社会的・文化的 環境との相互作用の観点から理解する能力を養う。
3. 人間の多様な考え方を認識し、喜び、苦しみ、痛みを分かち合え、倫理に基づき看護を実践する。
4. 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。
5. 専門職としての成長をめざして、社会情勢の変化や科学・技術の進歩に関心を持ち、自ら学び続ける態度を養う。
6. 保健医療福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるように、それらを調整するための能力を養う。

2. 学科の教育目標

授業計画各科目目標 P7～P13

実習要項の各看護学実習 P50・P57・P80・P92・P102・P114・P120・P130

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・地域包括ケアシステムや多職種連携にあった教育が求められている。

② 今後の改善方策

- ・R4年度入学生より実施されるカリキュラム改正時に、さらに充実させたものとする。
- ・R4年度入学生より実施されるカリキュラム改正時に、地域包括システムや多職種連携、臨床判断能力などが求められる。それらを見込んだ科目設定とする。

③ 根拠資料

- ・学生便覧 学則 P2、授業計画 P2~P13 実習要項 P1、募集パンフレット、
- ・保護者会、保護者宛ての国家試験支援文書・コロナ禍における連絡文書（一部）

④ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・情報システム化等による業務の効率化の整備中

② 今後の改善方策

- ・管理システムを導入し、学校事務の効率化、一元化をすすめる。

③ 根拠資料

- ・学則（組織に関する規程）
- ・学生便覧
- ・オープンキャンパス・保護者懇談会、募集要項で「国家試験合格率、入試倍率、就職率、実習病院」の情報を公開。

④ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・能力開発のための研修受講が少ない。(出張扱い、交通費の補助があるのみ)
- ・教員数は指定規則を満たしてはいるが、実習施設も多岐にわたるので、さらに必要である。

② 今後の改善方策

- ・教員の能力開発のための研修（日本看護学校協議会、大阪府看護学校協議会、進研アドなど）の受講や当校での研修会の企画をする。
- ・教員の計画的確保（健康で継続勤務できる人、教育経験がある人）

③ 根拠資料

- ・授業計画（教育目標・学年別教育目標・科目構造図・分野別目標など）
- ・実習要項
- ・学生による講義・実習評価
- ・教員の研修受講状況
- ・2021年度教員一覧表

④ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・母体病院へ就職者を増やす。
- ・退学者が年間3学年で合計3名、減少した。理由は1位健康上の理由2位は進路変更。
- ・卒業生の社会的活動の把握とキャリア支援が弱い。

② 今後の改善方策

- ・現在実施している、母校での卒後フォローアップ研修やホームカミングデイを継続する。  
実習施設の看護部からタイムリーな動向をつかみ、支援する。

③ 根拠資料

- ・就職率 ・国家試験合格率 ・退学率 ・卒後のフォローアップ研修・ホームカミング  
デイ、スクールカウンセリングに関する事項

④ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

- ・マグネットホスピタルになるために学校・看護部双方で検討し、卒後教育の一旦を担う。

③ 根拠資料

- ・健康管理規定
- ・就職指導年間計画表
- ・学年別面接計画

④ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・南海トラフなどの自然災害を見据えた防災体制の整備(コロナ禍含む)

① 今後の改善方策

- ・実践的な防災体制の整備 学生の学内における物資のストックについて指導する。

② 根拠資料

- ・学内外の実習施設の教育体制の整備：実習要項
- ・防火訓練実施、大阪 880 万人の訓練に参加
- ・在宅訪問看護ステーションや実習施設のインターシップへの参加状況

② 特記事項

- ・学内外の実習施設について十分な教育体制の整備：実習施設は大阪府に申請し実地調査後承認を受けている。(指導要領で整備すべく、実習指導者の要件や図書の整備、更衣室、討議室、必要備品の整備など)
- ・就職活動と関連させて、在宅訪問看護ステーションや実習病院等のインターシップに参加している。

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

○18歳人口の減少。年々応募者の減少。

②今後の改善方策

・OC、高校訪問、ブログ、YouTube、指定校推薦校を10校⇒20校へ

③根拠資料

・指定校推薦導入で、確実に現役生を確保する。

(R2年度10校、R3年度20校を導入)

・応募状況倍率 (受験生÷入学生)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
倍率	5.7倍	5.2倍	4.1倍	3.7倍	5.9倍	4.2倍

・OC/メディカルフェスタ応募状況(人)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
OC	325	329	329	297 (予約制)	256 (予約制)
メディフェス	422 (4回)	305 (3回)	123 (2回)	195 (1回)	169 (3回)
メディフェス (看護第1学科)	199	145			

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

① 課題

⑤ 今後の改善方策

⑥ 根拠資料

⑦ 特記事項

- ・R3年度財務報告書（HPで公開）

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 ③ 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

① 課題

② 後の改善方策

③ 根拠資料

R2年度自己点検自己評価、関係者評価の実施、公表した。

R3年度は自己点検自己評価の実施をした。

④ 特記事項

・毎年保助看法の14条報告の実施、保助看法に逸脱していないかの確認がある（カリキュラムの実施状況や教員の要件、入学者数・卒業者数、実習施設の確認など）。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 ② 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・継続した、学校や学生の地域貢献が少ない。

② 今後の改善方策

- ・地域に対する公開講座やボランティア、高校からの出前授業などに取り組む。

③ 根拠資料

④ 特記事項

- ・認知サポーター場所として認定された。授業で、養成講座を取り入れた。
- ・OC への学生応援,学生の保育園の運動会への参加や老人ホーム・デイケアのなどの夏祭り参加、行岡バザーの協力・参加している。(コロナ禍で中止)
- ・行岡病院の卒後教育の一環として、「人工呼吸器蘇生人形」「AED」採血練習用「血管くん」貸し、活用していただいている。
- ・当校歯科の講義を実施している。
- ・コロナ禍において出前授業を実施できず。(コロナ禍で中止)
- ・実習病院との年1回の講演会(コロナ禍で中止)や指導者会などを通して交流している
- ・1階ホールに情報掲示板を作り地域のボランティア情報を提供している。

2021年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日： 2022年4月27日（水）13：30～16：30

場所： 行岡医学技術専門学校 4階演習室

学校名： 行岡医学技術専門学校

学科名： 看護第1学科

評価者： 学校運営に関する専門家（マネジメント）  
教育関連

【講評】

- ・学園の理念「協同」を基に多職種連携への取り組みができることは強みである。新カリキュラム構築につなげたい。また、学校のPRポイントでもある。
- ・学校運営に関しては、適正に運営されていることがわかる。
- ・教育活動について、全体的に、年々整備されて成果をあげ、退学者の減少につながっている。また、国家試験合格率も年々上がっている。
- ・卒業生支援について、早期離職を避けるための支援を就職先との連携で考えていただきたい。
- ・学年末・卒業時の満足度アンケートや入学時アンケートを基に教育活動の改善に繋がっている。
- ・教員がお互いに授業参観をすることにより、わかりやすい授業の工夫に繋がっている。
- ・スクールカウンセラーと教員が学生のメンタル面の支援を双方で行われている。
- ・地域への貢献がについて、コロナの影響でほぼ中止であるが、可能な地域貢献の取り組みを考えることもしていただきたい。
- ・業務の効率化、教育の時間の確保のため、教務事務のICT化を進めていただきたい。

以上

2021年度 行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：歯科衛生科

記入者：福田 弘美

1. 学校の教育目標

本校の教育理念の「協同」から発展して、「適応力豊かな医療人の育成」

2. 学科の教育目標

「適応力豊かな医療人」を目指すうえで学生には、科の教育目標は「成し遂げる力」を養うことである。

「成し遂げる力」を達成するためには

- ・ 歯科衛生士になるという強い意思をもつこと
- ・ 相手を思いやり、寄り添う気持ちをもつこと
- ・ 心身ともに健康であること

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

#### ①課題

学校の理念、目的等は入学前のオリエンテーション（学生・保護者説明会）にて周知している。将来構想までは周知していない。

今年度もコロナ禍にあったが、午前と午後の2回に分けて対面での説明会を実施した。

#### ②今後の改善方策

2021年度の反省を基に改善した。保護者会は1年生で1回だけだが、今後の感染状況を見て夏休みにも実施したいと考えている。

#### ③根拠資料

資料1参照

#### ④特記事項

## (2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 ② 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 ② 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 ② 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

### ① 課題

教員は毎日午前と午後の学生点呼、非常勤講師への講義資料印刷準備ならびに担当科目講義など業務は多岐におよんでいる。そのため業務の効率化が図られにくい。

### ② 今後の改善方策

### ③根拠資料

### ③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・授業評価は実施したが、集計が不十分となった。そのため、結果が反映できていない。

② 今後の改善方策

- ・これまでの授業評価は評価用紙に記入してもらい回収をしていた。そのため、集計に時間がかかり結果に反映されていない。2022年度は講義終了後に学生へQRコードから授業の評価ができるようにしている。これにより、集計ができやすく次年度へ反映され则认为。

③ 根拠資料

- ・成績評価 2021年学校要覧 第20条 資料2, 3, 4

④ 特記事項

#### (4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 ② 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

##### ①課題

- ・歯科衛生士になりたいという意思が固い学生の確保
- ・成績不振の学生が今年度は特にみられた。
- ・2019年度、2020年度ともに国家試験合格率は100%であったが、今年度は97.4%（全国平均95.6%）であった。  
コロナ禍ということもあり、対面での学習指導に制限があった。  
次年度は全員合格を目標としたい。

##### ②今後の改善方策

- ・学生の学習意欲を向上させるために、より早期の段階から学習サポートを実施する計画をたてている。予定では学生間のサポート体制の強化と長期休暇中の補習を計画している。

##### ③根拠

- ・2021年度の退学者（1年生）5名中3名は成績不振。

##### ④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 ② 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ 卒業生への卒後研修が実施できていない。  
昨年度も同じく実施できていない。卒業生のニーズを把握するところから実施する必要があると考える。

②今後の改善方策

- ・ 卒業生への研修（時代のニーズに即した）を計画していきたい
- ・ 卒業生のニーズを把握して、ZOOMでの実施も検討していく。

③ 根拠資料

- ・ 進路・就職に関する状況を把握する調査表を提出し相談にのっている。資料5参照

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

①課題

実習室の器機が老朽化し修理をしながら使用している

②今後の改善方策

③ 根拠資料

防災に関する資料6

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・学生募集活動は適正に行われていると考える。しかし、2021年度もコロナ禍にあったため十分などとはいえない状況であった。

② 今後の改善方策

- ・コロナ禍にあってもオープンキャンパスでは感染予防を徹底しながら対面で実施していく。

③ 根拠資料

学納金,他の学校との比較 資料7

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 ② 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

① 課題

自己評価実施を 2021 年度は公開ができていない

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

### (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 ①
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 ② 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

#### ①課題

・ボランティア活動は推奨しているが、現時点では社会貢献・地域貢献が十分になされているとはいえない。

#### ②今後の改善方策

他学科で地域貢献を実施していれば連携を図り、支援できる体制を考えていく

#### ③根拠資料

#### ④特記事項

## 2021年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 ①2022年5月26日（木曜日）10時00分～12時30分

②2022年5月27日（金曜日）10時00分～12時30分

場所 行岡医学技術専門学校 6階 演習室

学校名： 行岡医学技術専門学校

学科名： 歯科衛生科

評価者： ①歯科医院（臨床実習施設）

②業界関係者（産業界、卒業生）

### 講評

2名の評価者ともに本科の教育ならびに取り組みに対して、適切であると評価して頂いた。その中でも評価基準が「やや適切」、「不適切」と評価された項目から課題と今後の対策についてまとめる。

### 【課題・今後の対策】

#### \*教育活動

##### 【課題】

アクティブラーニングを実施するにあたり、機材や教材に工夫が必要となった。教育の質向上のために環境調整が必要と考えられる。

##### 【今後の対策】

コロナ渦の中教室の使用制限があり機材不足に陥ったのは否めない。将来的に増設していきたい。

#### \*学修成果、学生支援

##### 【課題】

受動的な課題が多く、学生自身で取り組む課題発見型学習を組み込む必要があると考える。

##### 【今後の対策】

主要科目から、プログラム学習などを導入し、個々それぞれが課題解決していけるような教育支援を実施していく。

**\* 教育環境**

**【課題】**

自習や時間外の学びのスペースが不足している。学生の行き場がないように思う

**【今後の対策】**

空き教室などを利用して、授業時間外での自由に学べるスペースの確保を行う。

**\* 社会貢献・地域貢献**

**【課題】**

地域の歯科衛生の啓蒙活動をしていったらどうか

**【今後の対策】**

コロナ渦が収まったら、地域（高齢者など）の口腔衛生活動に出向き、歯ブラシ指導など実施したい。